

書籍 “Allies at Work” 2009 アメリカ Out&Equal の資料 Dr.David M. Hall 著より
(日本語訳 特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ)

What You Can Do For Workplace Equity

性的指向や性自認/性表現によらず、すべての従業員にとって、より公正な職場環境を築くため、従業員一人一人が出来ることはたくさんあります。そのためのいくつかの具体的例を述べます。

Basic Support (基礎的な支援)

- ・「パートナー」「つれあい」など、異性愛に限定しない言葉の使用を心がけよう。
- ・レインボーフラッグやステッカーなど、LGBT 関連のグッズをオフィスに置こう。
- ・職場における LGBT の問題について最新情報を知り、職場全体で情報共有しよう。
- ・あなたが行なっている LGBT に関する支援活動を、同僚に話そう。
- ・職場や地域で開催される LGBT 関連のトレーニングやプログラムに参加しよう。
- ・人の性的指向や性自認に関する決めつけは避け、耳を傾けよう。

Moderate Support (中級の支援)

- ・反同性愛的な冗談やからかいを訂正しよう。
- ・“gay”という言葉が不適切に使用されたら訂正しよう。
- ・性的指向や性自認/性表現によらず、すべての従業員を、会社の方針や就業規則において公正に扱うことを支援しよう。
- ・社内の ERG (従業員グループ) が主催する LGBT イベントに積極的に参加し、また、他のアライの人も誘おう。
- ・社内や製品で使用する文言 (フォームや広告など) について、言葉やイメージをより包括的なものにするために、確認することを申し出よう。

Advocacy (アドボカシー)

- ・社内の ERG (従業員グループ) やダイバーシティ・カウンスルに参加しよう。
- ・LGBT の問題について職場での講師となり、公の場で自分のアライとしての道のを話す機会を探そう。
- ・社内の研修部門と協力して、職場での研修プログラムの確認、向上に力を貸そう。
- ・地域、州、国のレベルで、あなたの会社が LGBT の職場での平等を支援する組織となるよう、働きかけよう。

以上